

# 耕種農家から青刈りとうもろこし収穫作業を受託している飼料生産組織 (茨城県 株式会社 JA常陸アグリサポート)

## 経緯

- ◆ 5農協の合併によるJA常陸の発足に伴い、子会社である二つの農業生産法人を再編統合し、(株)JA常陸アグリサポートを設立。
- ◆ 土地利用型作物、野菜の生産販売とともに、稲収穫作業をはじめ、様々な農作業を受託。
- ◆ 地域の有機農業の一翼も担っており、令和6年は、有機米6ha、有機野菜4haを栽培。
- ◆ 県農林事務所が、青刈りとうもろこしの利用を酪農協の構成員から相談され、連作障害回避のための土づくりや休耕期間の畑を活用したい耕種農家との橋渡し役を担う。

### <令和5年経営面積>

品目	面積
稲作	161ha
うち飼料用米	うち 120ha
うちWCS用稲	うち 10ha
麦・そば	118ha
青刈りとうもろこし	17ha
野菜	6ha

・青刈りとうもろこしの収穫調製作業を耕種農家から19ha受託。

・稲やそばの刈り取り作業なども受託。



収穫時期、作業機械の搬入経路等の目合わせ

## 飼料の生産・取引状況

- ◆ 耕作放棄地の発生を防ぐため、利用困難な畑を活用して、自ら青刈りとうもろこしを生産販売。
- ◆ また、県農林事務所の仲介により、野菜農家3戸（ネギ、サツマイモ）、畑作農家1戸の青刈りとうもろこし収穫調製作業を受託。
- ◆ 耕種農家が、作付け・栽培管理までを実施し、JA常陸アグリサポートに収穫調製作業を委託。
- ◆ 配送は運送業者に委託。収穫物は即納品。

## 課題への対応など

- ◆ 耕種農家は、「青刈りとうもろこしは、栽培に手間がかからない、収支もトントンであれば構わない。輪作による後作物の品質向上を期待している。」とのこと。
- ◆ 小さいほ場が多く、点在する地区もあるためほ場管理システムを活用。
- ◆ 農地所有者から、ほ場を引き受けて欲しいとの相談はあるが、作業性や人手不足などにより、対応が困難な状況。

【令和6年12月2日現在】